

問6(ア) 加熱後の質量が1.90gのとき、生じた酸化銅の質量は何gか。

表

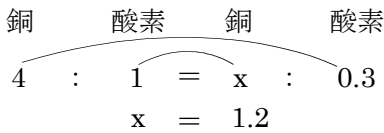
	全て銅					
	加熱前	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
質量[g]	1.60	1.90	1.95	1.98	2.00	2.00



図1

$1.90 - 1.60 = 0.3\text{g}$ の酸素が化合した

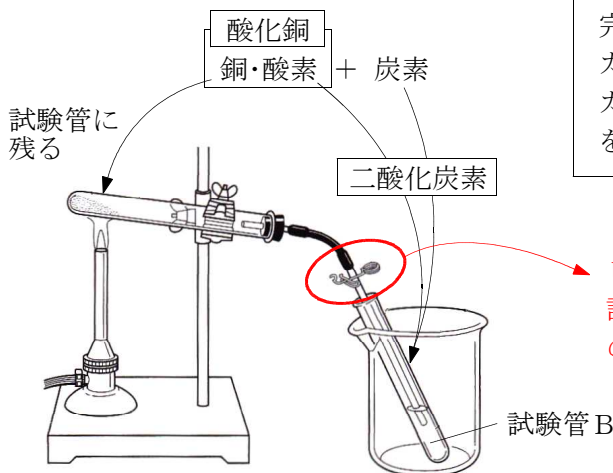
0.3gの酸素に何gの銅が化合したか？



0.3gの酸素に1.2gの銅が化合 $\Rightarrow 0.3\text{g} + 1.2\text{g} = 1.5\text{g}$ の酸化銅が生じる

答 1.5g

問6(イ) ゴム管をピンチコックで閉じるのはある物質と空気中の酸素が化合するのを防ぐためである。ある物質とは何か。



完全に反応させた後、試験管Bのガラス管を石灰水から取り出してガスバーナーの火を消し、ゴム管をピンチコックで閉じて…

ピンチコックをなぜ閉めるか？
試験管の中に残った銅と空気中の酸素が化合しないように！

答 2. 銅